

厚木市相模人形芝居資料複製製作工程報告書

令和2年度

(株)文化財ユニオン

厚木市相模人形芝居資料複製製作工程報告書

資料名 厚木市相模人形芝居三番叟（白尉、黒尉、鈴、収納箱）
期日 令和2年度
施工者 (株)文化財ユニオン

1. 工程



*作業前写真の撮影（詳細 CD）

歌舞伎人形芝居三巻巻 (巻・訂正稿) 複製作成記録



* 錫箔による資料の保護



* シリコンゴムによる内型の作製



* 石膏による外型の作製



* エポキシ樹脂による雄型の作製



* 古色付けを行って完成

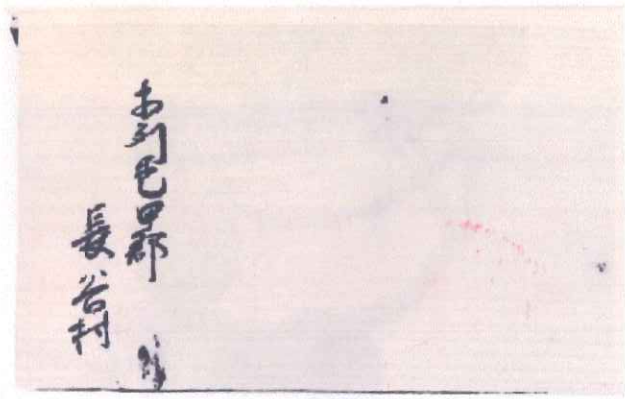
相模人形芝居三番叟（鈴・収納箱）複製作成記録

相模人形芝居三番叟で使用する鈴及び収納箱の複製作成記録を以下にまとめた。

1. 収納箱：調査・撮影

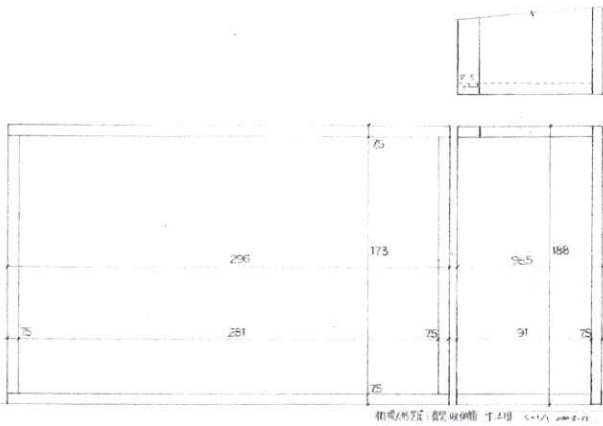


1. 外寸は幅300mm×高190mm×奥行100mm、厚さは8mmで、すり下ろし式の木箱。使用材は側板の縦材のみ桐材で、他は杉材を使用。桐箱のように木釘で固定している。
2. 蓋の表裏に墨書あり。



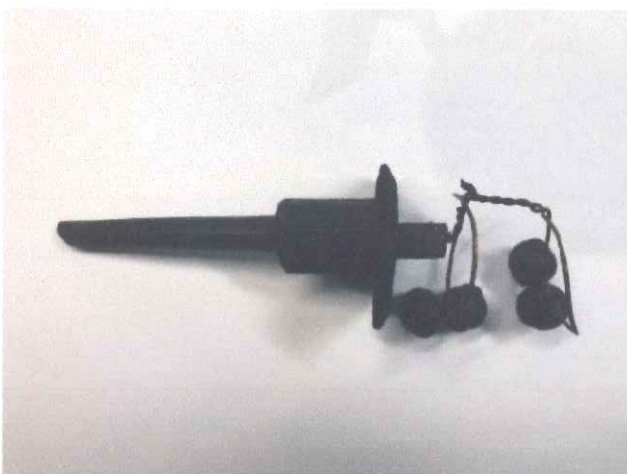
2. 収納箱：製作

1. 寸法図通りに木取りをして、（蓋の木取りは実物と同様に白太入りの杉板を使用した。）切削を経て組み立てる。
2. 木釘で各面を固定し、蓋の調整を終えて木地を完成する。

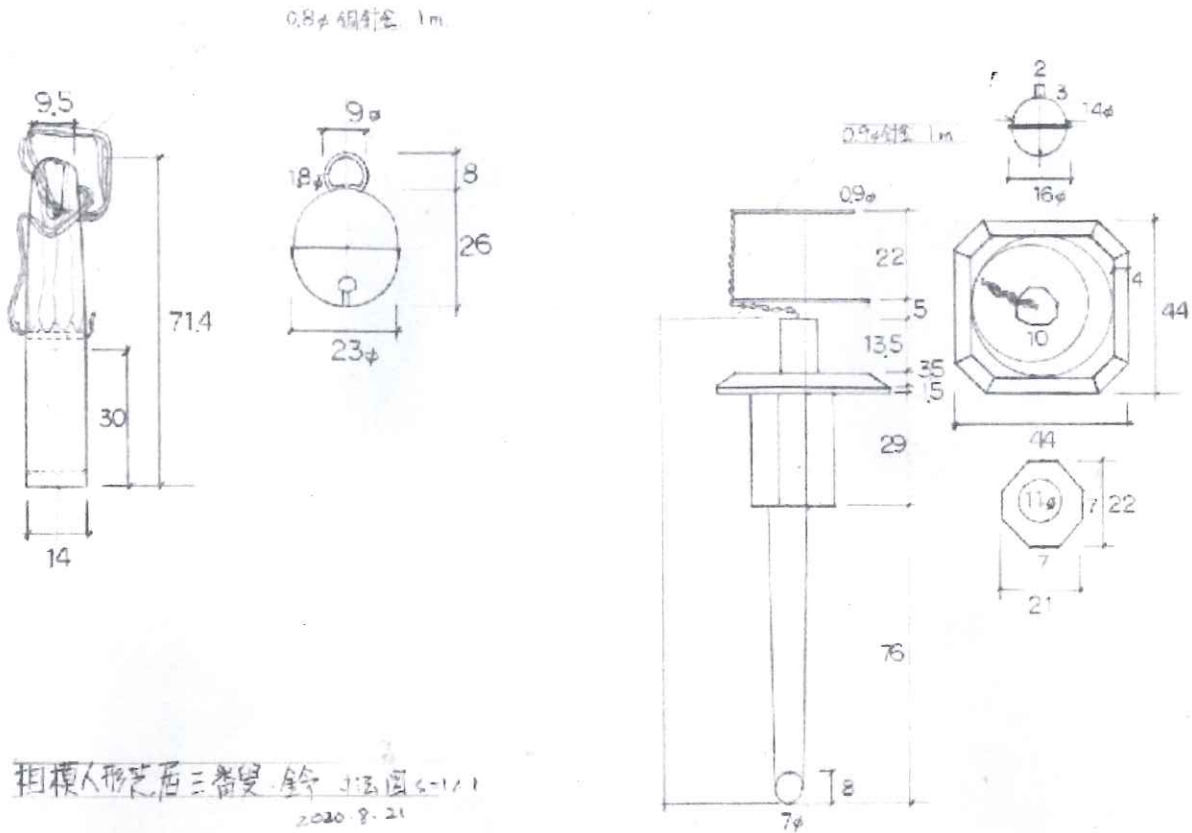


3. 彩色及び墨書に着手する。

3. 鈴：調査・撮影



1. 寸法図を書いて材料の詳細を記録する。鈴の下図左をAタイプ、右をBタイプとすると、Aには3ヶ、Bには4ヶの鈴がついている。



Aタイプ

Bタイプ

2. Bタイプを子細に見ると、針金の支柱に極小さい金属片が挟まっている。形から見ると鈴を下げる輪っかの形と同じもので、これからすると鈴は少なくとも、もう一ヶ増えて5ヶとすべきであると判明した。



4. 鈴：製作

1. 木部を木取りし、切削穴開けを経て形を仕上げる。
2. 試作して針金の具合を確かめる。



3. 金工師に依頼した鈴を付けてみる。



4. 彩色に着手する。(プライマー塗布後、アクリル、ラッカー等により彩色)

